

日本認知症予防学会の取り組みと日本脳ドック学会・日本脳神経外科認知症学会との連携への期待

浦上 克哉

鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座

日本認知症予防学会は認知症予防を目指していますが、日本脳ドック学会は脳卒中・認知症予防のための医学会というサブタイトルをつけておられ目標を共有できる部分が多いと考えます。日本認知症予防学会は2011年に発足し、①認知症予防のエビデンスの創出と認定、そしてエビデンスに基づいた認知症予防の普及・啓発、②認知症予防に対応できる専門人材の育成（認知症予防専門士、認知症予防専門臨床検査技師、認知症予防専門医、認知症予防専門看護師、認知症予防専門薬剤師）、③多職種協働・地域連携を3本柱に取り組んできました。現在約2,500名を超える会員数に成長してきていますが、認知症患者数からみるとまだ十分な会員数とはいえません。学会員数を増やすとともに、目標を同じくする学会との連携も重要と考えます。この合同シンポジウムが日本脳ドック学会、日本脳神経外科認知症学会と連携するきっかけになればと期待しております。

略歴 浦上 克哉（うらかみ かつや）

1989年 鳥取大学医学部脳神経内科・助手
1996年 鳥取大学医学部脳神経内科・講師
2001年 鳥取大学医学部生体制御学・教授
2022年 鳥取大学医学部認知症予防学（寄附講座）・教授

